

はい!

# やくも町議会

です

第 74 号

令和 4 年 8 月

編集 / 議会広報広聴常任委員会

## 7月20日 議会報告会 開催!

たくさんのお声をいただきました!

はびあ八雲 19人参加

くまいし館 22人参加

落部町民センター 7人参加

### 主な内容

	ページ
○一般会計補正予算 .....	②
○5名の議員が町政を問う(一般質問) .....	④
○議員研修・現地視察 .....	⑨
○議決・賛否一覧他(定例会・臨時会) .....	⑩
○特集! ミニツアー in山越! .....	⑫
○常任委員会の活動(所管課報告) .....	⑭
○ノビシロ・ラボの皆さん(耳をすまして) .....	⑯



## 補正の主な内容

### 八雲中学校大規模改修工事 1億102万円

昭和55年に建築後40年が経過し、老朽化が著しいことから、安全性や機能性を確保し、同時に空調・トイレ環境の整備など教育環境の質的向上を図る



### ウクライナ避難民受入事業 1,999万8千円

ロシア軍によるウクライナ侵攻により、ウクライナから日本への避難民受入のうち八雲町への避難民に対する支援。避難民受入住居は、旧国立病院敷地内の医師住宅10戸を提供



### 耐水性貯水槽設置工事請負費 2,860万円



熱田・野田生地区に新設

## 令和4年 第2回定例会

### 一般会計補正予算

# 3億366万7千円追加

(補正後の総額 147億5040万6千円)

第2回定例会は6月7日から6月9日までの3日間の会期で開かれ、補正予算、条例改正、工事請負契約の締結、財産取得など議案19件、専決処分などの報告2件を審議し、いずれも原案どおり可決されました。

## 農業研修者家賃助成金 90万円

町外から新規就農を目指す研修者に対し、  
家賃の一部を助成  
1ヶ月当たり2万～2万5千円



## 町内事業者経営安定支援事業補助金

町内金融機関・商工会で独自に実施する事業  
者への融資における利子補給

2,599万5千円

## 熊石地域コンブ養殖試験事業

「ゼロカーボンシティ八雲」の取り組みの  
一環として、熊石地域においてホソメコンブの  
養殖試験の実施

172万5千円

## 子育て世帯生活支援特別給付金

ひとり親世帯を除く住民税非課税の子育て世  
帯の児童一人当たり5万円を給付

850万円

## 臨時特別給付金

住民税非課税世帯等に対し一世帯当たり10万  
円を給付

6,500万円

## 工事請負契約（3件）を締結

### 出雲町D団地公営住宅新築工事（建築主体）

契約金額 1億2,688万5千円

契約の相手方 高橋・吉野・安藤特定建設工事共同企業体

八雲町公共下水道八雲下水  
浄化センター外建設工事  
契約金額 6億9,000万円

八雲町一般廃棄物最終処分場浸出水  
処理施設回転円板更新工事  
契約金額 6,490万円

## 財産の取得

除雪ドーザ（6 t級）購入  
1,077万4,500円



高規格救急自動車購入  
3,084万2,251円



# 一般質問

# 町政を問う!

※質問した議員本人が原稿を書いています。

一般質問とは？

町の仕事の全てを問いただし、自由な意見を述べ、それについて町の公式見解を引き出すことのできる機会。華やかであるが「力量」が問われる。

## Q 地域再生に「半農半X」の活用を

### A 持続可能なまちづくりに努める

さいとう 齋藤 まこと 議員

**問** 従来の兼業農家は、農業者が営農以外の収入を求めているのが一般的であり、「半農半X」は、これ

までの仕事を続けながら農業を生活基盤とするライフ・スタイルを目指すものである。

熊石再生に活用可能な地域資源を発掘し、地域課題の明確化、課題解決に取り組む組織の必要性等に挑戦することは、地域のイノベーションを生む好機になる。町長の考えを伺う。

**町長**

「半農半X」は本業の仕事を続けながら、農業にも挑戦できる新しい働き方である。「半農半IT」等、自分に合った様々な組み合わせがある。これまで農業に縁のなかった人が始める傾向があり、農業振興や地域活性化で活躍する人材として期待されている。コロナ禍による企業のテレワークやリモートワーク化が進んだことにより、都会の仕事を田舎で行うハードルは低くなっている。今後は課題解決に向けた話し合い、受け皿となるサポート団体、実働グループの必要性などを検証し、持続可能なまちづくりに努める。

## 議会これからの予定

- 《8月》 9日 第6回臨時会
- 18日 総務経済常任委員会
- 《9月》 2日 文教厚生常任委員会
- 7日~14日 議会運営委員会
- 第3回定例会
- 決算特別委員会
- 全員協議会
- 総務経済常任委員会
- 広報広聴常任委員会
- 議会運営委員会

## 議会を傍聴してみませんか

次の議会は、

令和4年第3回定例会

9月7日(水) 午前10時から  
開会の予定です。

お気軽に足を運んでみてください。

YouTubeで映像配信もします

**Q** 不登校児童生徒への支援のあり方は

**A** 「登校」が目標ではなく、自立を支援する

ともこ 議員  
さとう 佐藤



校、短時間登校など個別学習指導を行っている。また、学習用端末を活用したオンライン学習により、学びの保障に努めている。

**問** 八雲町には小学校、中学校それぞれ何人の不登校児童生徒がいるのか。どのような対処を行っているのか。

八雲町では令和3年度において小学校で11名、中学校で21名の計32名が不登校となっている。不登校対策としては、スクールカウンセラーによる専門的な助言や、保健室・相談室などの別室登

**教育長** 不登校とは、年間30日以上欠席したもののうち、病気や経済的な理由を除いたものと定義されている。

八雲町では令和3年度において小学校で11名、中学校で21名の計32名が不登校となっている。不登校対策としては、スクールカウンセラーによる専門的な助言や、保健室・相談室などの別室登

育活動を支援していく。

**問** 「普通教育機会確保法」に沿った保護者や学校への働きかけはどうか。

八雲町では、適用指導教室もフリースクールも設置していないため、タブレット等を活用しつつ、家庭でしっかり生活できているか確認しながら、学びの保障を何とかしようとして模索している状況だ。

**教育長**

八雲町では、適用指導教室もフリースクールも設置していないため、タブレット等を活用しつつ、家庭でしっかり生活できているか確認しながら、学びの保障を何とかしようとして模索している状況だ。

**問** 不登校で学校に行けないとなると何か代わりになるものが必要。例えば「子育て支援センター」に学習支援の機能を付け加えるなど、行政で計画を作ると共に、民間の学習機関との連携や支援も考えるべきではないか。

子どもを選択肢が広がるように、その効果も含めて検討しなければと考えている。

**教育長**

子どもを選択肢が広がるように、その効果も含めて検討しなければと考えている。

**普通教育機会確保法（2016年）**

不登校児童生徒が行う多様な学習活動の実情を踏まえ、個々の状況に応じた必要な支援が行われるようにすることなどを定めた法律。

**Q** 補聴器の助成は？

**A** 町独自の助成は

考えていない

**問** 高齢になり耳の聞こえが悪くなると会話が成り立ちにくくなるなど、社会性が低下し、認知症に繋がる恐れもある。

高齢者が元気でいきいき暮らせるように補聴器の助成を考えると

高齢者が元気でいきいき暮らせるように補聴器の助成を考えると

どうか。

**町長** 補聴器の購入には、障害者総合支援法に基づく補装具費の支給制度があり、加齢性の聴力低下についても、程度によっては支給対象となる。原則1割負担だが、非課税世帯は自己負担がなく、国費2分の1、道費4分の1、町費4分の1が財源である。当面は、町独自の助成は考えていない。

**問** 障害者手帳2〜6級を持っている方は補聴器の費用が支給されるが、現在、道内の助成制度がある自治体では、軽度・中等度の難聴の方が対象であり、どの自治体も概ね3〜5万円が支給されている。認知症を防ぐ手立てとして再考出来ないか。

補聴器が認知症の発症を軽減させる可能性があることは報告されているが、実際に認知症の予防に効果があるという結論には至っていない。当面は既存の制度を利用していたがたい。

**保健福祉課長**

補聴器が認知症の発症を軽減させる可能性があることは報告されているが、実際に認知症の予防に効果があるという結論には至っていない。当面は既存の制度を利用していたがたい。

Q

性教育は有効なものに変わったのか

A

学習指導要領の範囲で取り組んでいる

みさわ 三澤 議員  
きみお 公雄



発達段階に応じた「性教育」で充実に努めている。

さらに総合病院の助産師や看護師、保健師などの力を借りて、より解りやすく効果的な授業づくりに取り組んでいる。

問

文部科学省は、来年度からプライベートゾーンについて記述された副教材を全国配布をする程度のことです。「生命（いのち）の安全教育」とするようだが、八雲町はもっと充実していると考えていますか。

問

具体的に、実践的に教えていかなければならないと考える。日本の社会は、今でも男社会。

男の作った社会に女性が合わせていく。合わせられない方が悪いという社会だ。

八雲町の中で変えていけることは、変えていかなければならないという視点で、町長に伺う。

**教育長** 学校における性教育は、男女の違いを学び、自分と相手の個性を認め合うこと。そして性の問題は人権の問題であり、妊娠となれば人生の問題になる。社会を良くするためにもジェンダーの問題とも繋ぎ合わせ、これらを

女性の生理という現象は、「生理の日」だけの問題ではなく、ホルモンの変化で日々の体調が変化しているということを理解したうえで職場環境を作り、社会に出て

いる女性たちの弱いところを補っていく施策をやっていくべきではないか。

最近「生理の貧困」というワードが注目されていて、鹿部町や森町では生理用品の無料設置が始まっている。また、男性トイレにもサニタリーBOXを置くという運動も展開されている。八雲町でも取り組むべきでは？

町長

私も同感だ。教育委員会、住民生活課、保健福祉課などで連携を取り、どんな方法で支えていけば良いのか研究し、施策に反映していきたい。

質問の途中で、議長から、「性教育という通告なので、教育の分野でお願いします。」と言われました。

日本の著しいジェンダーギャップを埋めるには、「教育分野」だけでは追いつかない。「大人にも、社会にも、改めて「性教育」が必要なんです！」ってひとこと発言するべきだったな。

(三澤)

Q

「外国人差別をしない！」宣言はできないか

A

どんな文言が良いのか 研究したい

問

ウクライナ避難民を受け入れるという考えがあるならば、無意識にしまっとう差別も含め、町内に差別がなくなるような取り組みを、町が先頭に立ってやるべきではないか。

町長

「差別をしない」という宣言の範囲を広げて、全ての立場の弱い方々も、しっかりと八雲町で暮らしていける内容の宣言をしたいと思います。



**Q** まちの元気は協働で！

**A** 気軽に提案、相談しやすい環境を作る

あかい 赤井 睦美 議員



らは、「町民の意識改革はもちろん、町民力も職員力も向上している。」との声が上がっている。是非、八雲町でも、みんなで町を盛り上げる町民力を活かしていこう。

**問** 2011年に自治基本条例を策定し、自治の主体は町民であるということの基本に、まちづくりにおける町民と行政の役割も明確にしている。

そこで、町民と行政が共に知恵を出し合い、まちを元気にするための仕組みづくりを提案する。すでに全国各地で実践されているが、各種団体やグループ、町内会など、町民が自発的に計画し、応募された中から選ばれた計画に対し、関係課と一緒に計画の推進に関わっていく取り組みで、他の自治体か

**町長** これまでも多くの団体からの相談や提言を受け、その中で職員も共に考え、行動したことから、「山車行列」など八雲町を代表する素晴らしい事業を立ち上げてきた。

これからも町民の発想力を大いに活かす考えはあるが、それらの意見を採択する人の人選が難しいと感じている。町民力と職員力を融合させた元気なまちづくりを目指すためにも、町政への参加機会を設けるだけでなく、町民が気軽に提案、相談できる環境を作っていく。



**Q** 協働のまちづくりは健康から！

**A** LINE等で情報共有を図る

**問** 八雲町は2015年に健康増進計画を策定し、健診等を通して町民の健康を見守ってきたが、

新型コロナウイルス感染症の影響から、より難しくなっている状況。自分の健康は自分で管理すべきだが、検診や相談といった行政との協働があつて大きな成果が得られる。健康増進計画の現在の進捗状況と今後の取り組みについて伺う。

また、他の地域では、生活習慣病予備軍を防ぐため、3歳児健診

や5歳児健診で子ども達の尿中塩分検査の実施や中学3年生を対象とした血圧測定や塩分摂取の検査をし、結果を子ども達に丁寧に伝え、食生活の改善を図っている自治体もある。

是非、八雲町でも実践し、生活習慣病の予防に取り組んではどうか？

**町長** 策定から5年後の中間アンケート調査では、「栄養・食生活」「歯の健康」の分野で改善が見られ、一定の成果が出たが、他の分野では改善は見られず、検診の受診率も低いままで、新型コロナウイルス感染症の影響も非常に大きい。

今年度は町民ドックを再開する予定。感染状況に配慮しながら、各地域の団体と連携し、健康教室の開催等、健康づくりに関する普及啓発の機会を増やす。幼児や中学生の健診についても研究しながら、できることがあれば取り組んでいく。

**Q** 会計年度任用職員から正規職員への道を

**A** 現行の試験制度に基づいた職員採用に努める

よこたきよし 議員  
横田喜世志



**問** 町長は先日、職員を募集しても応募してくれないと言っていました。また、以前、職員は足りて

いるのかと質問した際には、町長は職員を定数まで増やすことや、臨時職員を正職員にするといった内容の答弁をした。改めて見解を伺う。

業員、補助員など幅広く、主に現場で働く職員が多数を占めている。正規職員を採用する場合は、渡島檜山管内職員採用資格試験に合格した方が、希望する町の採用試験を受験することが基本であるが、人材確保のため社会人枠や専門職の採用にあたっては、町独自で試験を実施している。

るのかと質問した際には、町長は職員を定数まで増やすことや、臨時職員を正職員にするといった内容の答弁をした。改めて見解を伺う。

会計年度任用職員を正規職員として採用する場合も同様に採用試験を受験することになり、これまでも臨時職員が正規職員の採用試験を受験し採用してきていることから、今後においても現行の試験制度に基づいた職員採用に努めていく。

**町長** 令和4年4月1日現在の

八雲町の会計年度任用職員は、病院も含め399名を任用している。

任用形態は1日の勤務時間が常勤職員より短いパートタイム会計年度任用職員で、職種は管理人、作

**7月20日に議会報告会を開催しました！**

- 会場 はぴあ八雲 19人参加
- 会場 くまいし館 22人参加
- 会場 落部町民センター 7人参加

皆さんの声を聞かせてください



議会報告会の内容については  
議会広報11月号に掲載予定

参加された皆様、ありがとうございました。



## 日本サーモンファーム今別養殖場の現地視察をしました

6月22日、総務経済常任委員会  
で、青森県今別町にある日本サー  
モンファーム（株）の漁港生簀と  
中間養殖施設について、現地視察  
を行いました。

東野漁港や熊石漁港で見てきた  
ものとスケールが違うということ  
は承知していましたが、もっと決  
定的な違いは「徹底した品質向上  
への意識」を持っているか否かだ  
と思いました。

最高の環境で育て上げたサーモ  
ンを、生きていた時の品質を出来  
る限り損ねないように消費者に届  
けることを徹底していました。

「活メ」にしても、酸素を海水流  
に注入しながらポンプで活メ場に  
移送し、スラリー氷という角のな  
い氷で全身を包み、一瞬で魚体を  
冷やすとのこと。

徹底した温度管理と、その蓄積  
されたデータは養殖場にフィード  
バックされ、さらなる品質向上に  
活かされます。



漁港生簀

これから始まるサーモン事業に  
向けて、投資に関しての漠然とし  
た「規模に対する不安」から、サー  
モンという商品の「品質向上への  
投資」と「運営する人材の確保」  
という、明確な課題に変わって  
いった視察でした。



中間養殖施設

## 新幹線トンネル工事発生土の 受入地について、現地視察を しました

6月23日、総務経済常任委員会  
で、新幹線トンネル工事発生土の  
受入地で、鉛川地区、富咲A地区、  
富咲B地区、黒岩A地区の4箇所  
の現地視察を行いました。

鉄道・運輸機構の説明によると、  
特に鉛川受入地では高濃度の重金  
属が含まれる要対策土が、何らか  
の影響で浸み出したとしても、重  
金属を受け止める層が準備されて  
いるので、基準値以下になること  
が保障されているとのことでした。  
それぞれの受入地の地盤に合っ  
た工法で要対策土を受け入れてい  
る状況を、質問を重ねながら、十  
分に確認しました。



## 北海道町村議会議員研修会に 参加してきました

7月6日、札幌コンベンション  
センターにて議員研修会が開催さ  
れ、議長はじめ5名の議員が参加  
しました。研修会では政治ジャー  
ナリストの泉宏氏により「参院選  
最終情勢分析と選挙後の政局展  
望」のテーマで、今後の政治情勢  
について講演していただきました。  
当日の午前中は、単独研修とし  
て、ウポポイ（民族共生象徴空間）  
を見学しました。

映像や展示資料などによりアイ  
ヌ文化をより深く知ることができ、  
有意義な見学となりました。



## 定例会・臨時会議件一覧

令和4年第4回臨時会（令和4年5月19日）			
議案第1号	八雲町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	議案第3号	八雲町一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
議案第2号	八雲町教育長の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例	承認第1号	専決処分の承認を求めることについて
令和4年第2回定例会（令和4年6月7日～9日）			
議案第1号	八雲町議会議員及び八雲町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	議案第18号	令和4年度八雲町一般会計補正予算（第2号）
議案第2号	八雲町非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	議案第19号	令和4年度八雲町病院事業会計補正予算（第1号）
議案第3号	八雲町税条例等の一部を改正する条例	報告第1号	専決処分の報告について（損害賠償額の決定について）
議案第4号	八雲町過疎地域持続的発展のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	報告第2号	令和3年度八雲町一般会計繰越明許費に係る歳出予算の繰越について
議案第5号	八雲町地域会館等条例の一部を改正する条例	発議第1号	航空自衛隊八雲分屯基地有効活用及び周辺整備事業推進特別委員会設置に関する決議
議案第6号	八雲町介護保険条例の一部を改正する条例	発議第2号	全国一律最低賃金制度の実施をめざす意見書
議案第7号	工事請負契約の締結について	発議第3号	2022年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
議案第8号	工事請負契約の締結について	発議第4号	環境教育の推進及びカーボンニュートラル達成に向けた学校施設のZEB化のさらなる推進を求める意見書
議案第9号	八雲町公共下水道八雲下水浄化センター外の建設工事委託に関する協定の締結について	発議第5号	急激な物価高騰からくらしと営業を守る緊急の経済対策を求める意見書
議案第10号	財産の取得について	発議第6号	2023年度地方財政の充実・強化を求める意見書
議案第11号	財産の取得について	発議第7号	地方公共団体情報システムの標準化に向けての意見書
議案第12号	財産の取得について	発議第8号	食糧の自給率向上を国政の柱に据える政治転換を求める意見書
議案第13号	北海道市町村総合事務組合規約の変更について	発議第9号	教職員の超勤・多忙化解消・「30人以下学級」の実現、義務教育費国庫負担制度堅持の意見書
議案第14号	北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について	発議第10号	森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書
議案第15号	北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について	発議第11号	国民の祝日「海の日」の7月20日への固定化を求める意見書
議案第16号	辺地に係る総合整備計画の策定及び変更について	総務経済常任委員会及び議会運営委員会の閉会中の継続調査申出について	
議案第17号	八雲町過疎地域持続的発展市町村計画の変更について		
令和4年第5回臨時会（令和4年7月8日）			
請願第1号	新幹線トンネル工事発生土に関する調査特別委員会設置を要望する請願書	報告第1号	専決処分の報告について（損害賠償額の決定について）
議案第1号	令和4年度八雲町一般会計補正予算（第3号）		



## 第4回臨時会 賛否一覧 (反対のあった議案を掲載)

賛成 ○ 反対 ×

議案名	採決結果	赤井陸美	佐藤智子	横田喜世志	大久保建一	関口正博	宮本雅晴	倉地清子	三澤公雄	牧野仁	安藤辰行	能登谷正人	斎藤實	黒島竹満	千葉隆
議案第3号 八雲町一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※千葉隆議長は、賛否同数の場合にその可否を決定します。

## 第2回定例会 賛否一覧 (反対のあった議案を掲載)

発議第1号 航空自衛隊八雲分屯基地有効活用及び周辺整備事業推進特別委員会設置に関する決議	可決	○	×	×	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
発議第2号 全国一律最低賃金制度の実施をめざす意見書	否決	○	○	○	×	×	×	×	×	欠	×	×	×	×	×
発議第5号 急激な物価高騰からくらしと営業を守る緊急の経済対策を求める意見書	否決	×	○	○	×	×	×	×	×	欠	×	×	×	×	×
発議第8号 食糧の自給率向上を国政の柱に据える政治転換を求める意見書	可決	○	○	○	×	×	○	○	○	欠	×	○	○	○	○

※千葉隆議長は、賛否同数の場合にその可否を決定します。

## 議会のうごき

### 《2月》

- 10日 総務経済常任委員会
- 17日 文教厚生常任委員会  
総務経済常任委員会
- 22日 第2回臨時会  
全員協議会

### 《3月》

- 3日 議会運営委員会
- 8日 議会運営委員会
- 9日～16日 第1回定例会  
予算特別委員会  
総務経済常任委員会  
文教厚生常任委員会  
広報広聴常任委員会  
全員協議会  
議会運営委員会
- 28日 第3回臨時会  
全員協議会

### 《4月》

- 11日 広報広聴常任委員会
- 14日 議会運営委員会  
総務経済常任委員会
- 18日 全員協議会  
総務経済常任委員会
- 21日 文教厚生常任委員会

### 《5月》

- 12日 総務経済常任委員会
- 19日 第4回臨時会  
全員協議会  
総務経済常任委員会  
文教厚生常任委員会

### 《6月》

- 1日 議会運営委員会
- 7日～9日 第2回定例会  
総務経済常任委員会  
広報広聴常任委員会  
全員協議会  
議会運営委員会  
航空自衛隊八雲分屯基地有効活用及び周辺整備事業推進特別委員会
- 16日 文教厚生常任委員会  
総務経済常任委員会

### 《7月》

- 8日 第5回臨時会  
全員協議会  
議会運営委員会
- 11日 広報広聴常任委員会
- 14日 総務経済常任委員会
- 20日 議会報告会
- 21日 航空自衛隊八雲分屯基地有効活用及び周辺整備事業推進特別委員会  
文教厚生常任委員会

# 特集「ミニツァー in 山越！」

## ① 由追の稻荷神社

ユイは元はユオイと呼ばれアイヌ語で「温泉が川尻にあるところ」という意味です。文化2年(1805年)に京都の大仏師が創建したとのことで、当時は人家が30軒あまりで半分が宿屋とのこと。大正年間に諏訪神社に合祀され、その後、もとに戻りましたが経過は不明です。蝦夷地探検をした松浦武四郎も道中の安全を祈り、和歌を残しています。



## ② 新緑の水

「新緑の水」を販売しているヤクモ飲料の工場近くに地下80mから汲み上げている風化カルシウムが含まれた天然水が無料で提供されています。1ℓあたり33mgを超えるカルシウムが含まれ、5年程度は腐食菌の発生がないとのこと。



## ③ 山越の油徴（円融寺前）

この地域では、幕末のころから油徴地として知られ、水温が異常に高い油田かん水を利用して温泉旅館もありました。近くでは石油に伴うアスファルトが発見されています。石油の基礎となった地層は八雲層の泥質岩（頁岩）と考えられます。

## ④ 山越諏訪神社

文化4年(1807年)に松前の人が漁業の繫栄と住民の氏神として、創設しました。ご神体は円空作の観音像で、背面に「ゆうらふのみたらしのたけ」と記されていることが分かっています。ただ、60年に一度しか開帳しないということで、見たことがある人は殆どいないため、虫食いなどが心配です。



今回は山越の見どころ紹介です。  
歴史や自然、地域の取り組みに注目です！  
是非、皆様もお出かけください。



### ⑤ 山越内関門

日本最北の関所にあたるもので、関門と呼ばれます。寛政12年(1800年)に蝦夷地と和人地の境界が定められたことにより、亀田の関門が移され、当時は武士も常駐していました。その後、蝦夷地との往来促進のために、文久元年(1861年)に廃止されました。

山越駅には関門の復元模型も展示されています。

### ⑥ 山越小学校

前身の山越内教育所は明治6年(1873年)に開設されたもので、昭和28年(1953年)にPTAが諏訪神社から土地を購入し、新校舎を設立。昭和62年(1987年)に現在地に移転されました。



### ⑦ ひまわり畑 (4万㎡ 約40万本)

農業の平手さんら有志が遊休農地など5箇所に植えたヒマワリ畑。噂を聞きつけ札幌方面からの観光客も!

時期をずらして植えているので、9月いっぱいまで見られるそうです。

是非、ご覧ください!

#### 山越の出身者紹介

画家の三國芳郎さんは、八雲高校から武蔵野美術大学へ進み、現在も人気童画家としてご活躍されています。東京の下町風景などは評価が高く、SENTOカフェにも展示されています。

# 常任委員会 の活動

令和4年5月から7月の  
各常任委員会の活動です。

## 文教厚生

### 【子育てに関するアンケート】

文教厚生常任委員会では、子育てに関するアンケートを実施しました。

QRコードを活用して調査を行ない、子育て中の方269名、子育てを卒業した方60名からの意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。

### アンケート結果

- Q 子どもの遊び場について、日ごろ感じることは何ですか？
- A 雨の日に遊べる場所がない。遊具等の設備が古くて危険。
- Q 病児・病後児のための保育施設等があれば良いと思うことはありますか？
- A 「利用できれば良い」と答えた方が137人、「利用したいと思わない」と答えた方が132人。
- Q 子育てや教育について、気軽に相談できる場所がありますか？
- A 「ある」と答えた方が112人、「ない」と答えた方が157人。
- Q 八雲町のどんなどころが子育てしやすいと感じますか？
- A 「給食費無料や保育料軽減など、医療費助成制度が充実している。」と答えた方が172人、「産婦人科、小児科がある」と答えた方が103人。
- Q 子育てがしにくいと感じることは？
- A 歩道のない通学路が危険。遊び場が充実していない。体調の悪い子どもを預けられる施設がない。

### 国保病院建替事業（最終的な方向性について再検討し、以下のように変更）

	変更前	変更後
病床数	45床	30床
建物延床面積	3,900㎡程度	3,300㎡程度
階層	3階程度	2階程度
事業費合計	23億4,800万円	21億9,700万円
建設場所	現病院敷地を中心に整備 (熊石雲石町)	特別養護老人ホームに隣接した町有地 (熊石平町)

まだ議決はされていません。

### 【国保病院建替事業について】

国保病院の建替事業については、全員協議会で報告がありました。所管は文教厚生常任委員会のため掲載します。

### 【工程スケジュール】

基本設計…令和4年11月～令和5年3月  
 実施設計…令和5年5月～11月  
 建設工事…令和6年3月～令和7年3月

開院予定…令和7年5月

解体工事…令和7年5月～12月

### 【議員からの主な意見】

- ・熊石地域の住民の意見が反映されていないことは、非常に残念で認められない。
- ・スタッフを含め、今後も医療を維持するためには、この結果はやむを得ない。
- ・院長先生との話し合いの結果であれば、納得せざるを得ない。
- ・熊石の住民があれだけの陳情書を持ってきたのに、何も汲み取ってくれていない。地元をしっかりと守ってくれる良い町長であってほしいと思う。
- ・合併した時に、医療は守ると言ったのだから、認められない。
- ・30床が妥当なのかもしれないが、45床という基本計画を認めた議会の責任もある。

# 総務経済

所管各課から報告を受けた中で、主なものをお知らせします。

## ●わくわく応援券進捗報告について（商工観光労政課）

4月1日～4月25日の換金状況実績の報告があった。

### 発送対象人数

8011世帯、1万5311人。

### 配布枚数

22万9665枚。

### 換金割合

2億2966万5千円のうち、1億2122万8千円。（52・8％）

これまでのひまわり商品券、いきいき商品券と同様に八雲地域9割、熊石地域1割の使用割合であり、前回同様、新入学準備等の利用されている傾向がある。

町外資本大型店の利用実績は62％となっている。

### 委員の意見

大型店での利用がさらに増えるものと思われるので、商工会のキ

ャンペーンのように町内循環になるような取り組みが更に望まれる。

## ●熊石地域コンブ養殖試験事業について（産業課）

2050年までにCO2排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティー八雲」の取組みの一環として、海洋生態系の中にCO2を吸収する「ブルーカーボン」を推進するために、漁業者によるホソメコンブの養殖試験と、使用するホソメコンブ種苗系の生産試験を行う。

### 事業協力主体

相沼泊川磯廻り部会。

### ホソメコンブ養殖試験

養殖用ロープ…延長350m。

場所…相沼漁港、泊川漁港。

予定生産量…6580kg。

CO2固定量…2・17t。

事業費…885千円。故障

### 種苗系生産試験

場所…水産試験研究施設。

生産量…種苗系300m。

事業費…840千円。

### 事業期間

令和4年度～令和8年度。

## ●八雲町営住宅家賃滞納整理事務（熊石地域）について（地域振興課）

滞納整理事案について、町営住宅の明渡し請求2件の経過報告があり、うち1件について建物明渡しの強制執行を実施した。そのほか支払督促申立て1件の経過報告があった。

### 「家賃の滞納をどう整理している？」（次号予告）

税金と違い、私債権である町営住宅使用料は強制徴収権がなく、支払いに応じない場合、法的措置を取らざるを得ない。

「不公平感をなくそう」という担当課の思いや、法的措置から強制執行に至るまでの手続きについてなど、わかりやすくまとめて、次号で掲載したいと思っています。

## ●付託を受けた「新幹線トンネル工事発生土に関する調査特別委員会設置を要望する請願書」の審査

令和4年5月31日に「八雲の未来を創造する会」より「新幹線トンネル工事発生土に関する調査特別委員会設置を要望する請願書」が提出され、令和4年6月7日に議長より付託を受けました。

6月16日に新幹線推進室から内容点検の報告をいただき、慎重に審査した結果、誤りや事実と異なる記載がある請願書については、請願文書の内容の正確性という観点から、不採択とすべきものと決定し、7月8日開催の第5回臨時会において不採択となりました。

委員会としては、これまで以上に活発な調査活動を行うことで役割を果たしていくこと。また、町民からの前向きな情報提供があった場合、積極的に活用していくことを確認しました。

# 耳をすまして

町民の皆さまの声が聞きたくて、議会を飛び出し町内の色々な団体やサークルなどの皆さまの声を聞いてみました。  
今回は

## ノビシロ・ラボの皆さまです！

### Q どのような活動をしていますか？

企業経営の勉強会を月1回開いています。メンバーは町内の経営者がほとんどですが、サラリーマンもいます。平均年齢は40代前半で、女性は少ないです。

### Q 始めたきっかけは？

会社の後継ぎとして右も左もわからず不安な中、「自分たちで勉強するしかない！」と考えて、札幌に学びに行ったり、講師を呼んで経営の勉強をしたのが始まりです。

### Q どんな効果がありましたか？

実際、売上げが伸びています。サラリーマンでも企業経営の勉強ができるので、この会に入って良かったと思っています。経営者の考えが少しでも理解できるようになりました。

### Q どのような目的を持っていますか？

自分たちの会社が大きくなることで、地元が元気になること。雇用を増やすこと。地域への還元。お客さんにも喜んでもらえるものを創造する。

### Q 町に望むことはありますか？

経済の問題で、民間と行政のどちらかに寄りかかる感じではだめだと思う。お互いの良いところを出し合って協力していければと思います。我々がアイデアを出して、町に補助金を出してもらうようなかたちで、新しい事業に取り組んでいきたい。

### Q 夢はありますか？

産業フェスタをやって、多くの方にアピールしたい。有名な経営者を呼んで話を聴きたい。民間と町が手と手を組んで一緒に歩む時代。何ができるかディスカッションしたい。



### Q 最後にPRをどうぞ

八雲町でも、経営について勉強できる場所がありますよ！いつでも相談に来てください。起業や経営について、ヤル気のある人は是非来てほしい。

8月には議員の皆さんに来ていただくことを考えていますので、よろしくお願ひします。

### ～取材を終えて～

企業経営やまちづくりに対してアイデア満載の方たちでした。「補助金は自分から取りに行く。」「借金してでもやる。」との言葉に意気込みが伝わってきました。学んで即実践する姿勢にとっても刺激を受けました。



営利を目的とする場合を除き、この議会広報誌をそのまま読むことが困難な方のために、録音図書・拡大写本等へ複製することを認めます。製作後は八雲町議会事務局（☎0137-62-2388）へご報告ください。

## 編集後記

日本には差別があると私は感じている。特に、多数側の人々が無意識に差別をしてしまっている場合が多々あるように感じられる。「多様な意見を尊重して議論をする場」を保障することが民主主義の根幹である。

だが、間違っしてほしくないのは、そこに差別に基づく意見は入れてはいけないし、差別が入る余地も無くさなければならぬ。

「差別」という意図のない無意識な偏見や発言で、相手の心に影を落とすという。やがてそれらは大きな差別的行動があふれる社会を作ってしまうことに危機意識をもつと持たなくてはならない。

私も含めて、少数の側ではないと自覚がある者すべてが、少数の側に立つ方々のことを想像して発言・行動することが、この社会をより良い方向に向かわせる一歩になると私は信じている。

議会広報広聴常任委員会  
委員 三澤公雄